

平成22年4月7日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19520188

研究課題名（和文）ロマン主義時代の歴史小説構築への女性作家の寄与・貢献

研究課題名（英文）The Romantic Women Writers' Contributions to Historical Novels

研究代表者

鈴木 美津子（SUZUKI MITSUKO）

東北大学・大学院国際文化研究科・教授

研究者番号：60073318

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：歴史小説、シドニー・オーエンソン、サー・ウォルター・スコット、ロマン主義時代、マライア・エッジワース、アイルランド併合、植民地主義

### 1. 研究計画の概要

本研究の目的は、以下のとおりである。歴史小説は、19世紀初頭のいわゆるロマン主義時代に誕生し、この時代にもっとも隆盛をきわめた小説ジャンルの一つであった。しかしながら、歴史小説成立を社会歴史的側面から分析した Georg Lukács は、Sir Walter Scott を歴史小説の創始者であると論じ、同時代の作家相互間の影響関係を考察することは無意味であると断じた。その結果、この時代に盛んに出版された小説群は、長い間考察の対象から外される結果となった。そこで、本研究では、従来等閑視されがちであった Maria Edgeworth、Sydney Owenson、Jane Porter、Anna Porter、Jane West などのロマン主義時代の女性作家たちの作品を、時に Charles Robert Maturin などの同時代の男性作家の作品と比較検討しながら、仔細に分析し、歴史小説という新たなサブジャンル構築に女性作家たちが多大なる寄与・貢献をおこなったことを検証する。さらには、その検証の過程で、女性作家たちが構築し発展させた歴史小説が、Scott の *Waverley* (1814) を始めとする、いわゆるウェイヴァリー小説に、小説のプロット、枠組み、テーマ、素材、手法などを提供したことを跡付ける。さらには、歴史小説執筆・出版が当時の女性作家にとっていかなる意味をもっていたのかを考察する。

### 2. 研究の進捗状況

当初の計画通り、本研究に密接にかかわると思われる Charles Robert Maturin、

Jane Porter、Anna Porter、Jane West、Christian Johnstone などの作品を大英図書館やケンブリッジ大学図書館等からフォト・コピーの形で取り寄せた。収集した資料・文献は精読し、仔細に分析し、得た知見は、「ロマン主義時代の歴史小説と『北と南』」(2009)という題で学会発表をおこなった。さらに、「アイルランドの併合を巡る言説—チャールズ・マチューリンの『アイルランドの族長』の場合」(2008)、「異文化体験の旅」と「結婚による融合」—シドニー・オーエンソンの構築した国民小説、地域小説の枠組み」(2008)という題で論文にまとめた。今後は、Jane Porter のポーランドを舞台にした歴史小説 *Thaddeus of Warsaw* (1803) と Jane West の清教徒革命時代の混乱を描いた *The Loyalists* (1812) を分析し、Scott の歴史小説に与えた影響を検証し、さらには彼女たちの政治意識を明確にしたい。

### 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

「おおむね」としたのは、研究開始当初は、文献収集に少々手間取ったため、成果を出すのに少し遅れをとったからである。

### 4. 今後の研究の推進方策

本研究の遂行過程において、ロマン主義時代の女性作家によって構築された歴史小説が、実はヴィクトリア朝時代の小説にも多大な影響を与えていたという確証を得た。その

知見を、今後ヴィクトリア朝時代の具体的な作品にあたって、検証する。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

1. 鈴木美津子、「アイルランドの併合を巡る言説—チャールズ・マチューリンの『アイルランドの族長』の場合」、『英国小説研究』第23冊、pp. 81-102、2008年、査読無。

〔学会発表〕(計3件)

1. 鈴木美津子、「ロマン主義時代の歴史小説と『北と南』」、日本ギヤスケル協会第21回大会シンポジウム「ギヤスケルと英国小説の伝統」、2009年10月4日、日本大学。

〔図書〕(計4件)

1. 鈴木美津子、「『嵐が丘』とシドニー・オーエンソン」、『佐野哲郎教授記念論文集』、大阪教育図書、pp. 12,203、2009年、査読無。

2. 鈴木美津子、「『異文化体験の旅』と『結婚による融合』—シドニー・オーエンソンの構築した国民小説、地域小説の枠組み」、『女性作家の小説ジャンルへの貢献と挑戦—デヴィス、ヘイウッド、エッジワース、オーエンソンの場合』、英宝社、pp. 105-52、2008年、査読無。

3. 鈴木美津子、「イングランドの出版業者と読者が果たした役割—国民小説『奔放なアイルランド娘』の誕生をめぐって」、『読者の台頭と文学者—イギリス十八世紀から十九世紀へ』、世界思想社、pp. 99-146、2008年、査読無。